

とんでもない！ 岡山空港で行われた自衛隊統合演習

防衛省は2023年11月15日、16日、17日の3日間、岡山桃太郎空港を使用して、初めての自衛隊統合演習を行い、F2戦闘機4機による離着陸訓練を行いました。このように緊張を高めることで、平和を作ることはできません。

岡山県に中止の申入れ (11.6)

「みどり岡山」も含めた17団体が、「平和センター」とともに、岡山県に中止を申入れしました。



岡山県は、県民・県議会との話し合いなしに、演習を受入れました。防衛省からプレス発表までは公表をしないようにとの口止めがあったとのこと。市民・県民の生命に関わることに関わらず、ほとんど情報提供も行われませんでした。

中止を求めるリレートーク (11.11)

この訓練は日本が戦場になることを想定したもので、レジャーや仕事で離発着する民間航空機の合間を縫って行われました。暮らしのなかで軍事演習を行うとは、信じられません。緊急に呼びかけたリレートークには多くの市民が集まり、「私たちはゆでカエル状態になってはいけない」との発言が印象的でした。危機意識をもって臨みましょう。



こんな子育て支援/ホームスタート・岡山ぐるりん

「家庭訪問型子育てサポート」です。就学前の子どもさんがいる家庭を、研修を受けた「ホームビジター」が週に1回、2時間程度訪問をして、おしゃべりをしたり、一緒に育児や家事をしたりします。無料です。(一社)ぐるりんがスタートさせます。利用してみたい方は事務局にご連絡をください。(070-9136-3334)



編集後記 ★ 12月の「岡山市有機農業パネル展」(岡山市役所市民ホール)で販売されていた、瀬戸南高校と高松農業高校の生徒たちが一生懸命作ったお米です。



のぞみ日誌から

台湾・新竹市を訪問 (11.8~10)

新竹市×岡山市友好交流協定20周年記念の議員団として訪問。新竹市長の高虹安さんは女性、市議会34議席のなかで15人が女性(44.1%)でした。若い方も多かったです(写真)。台湾の地方議会選挙はクオータ制をとっています。議会には「資料館」があり、全体的に岡山市議会より市民に開かれている印象を持ちました。



岡山マラソンでボランティアと応援 (11.12)

毎年、これから出発をするランナーへの給水ボランティアです。今回は、応援にも力を入れました。ゴールとあわせて、バスで帰ってきた皆さんも待ち受けました。医療関係の皆さんのスタンバイに心から感謝をしました。



海ゴミ問題解決をめざす高校生会議 (12.26)

県内11校の中学・高校生の質問に、超党派で参加をした議員(国会議員、県議、岡山・倉敷市議)が応えるというものです。若者発信の意見や実践を真摯にうけとめ、心一つに海ゴミ問題の解決をはかる。NPO法人グリーンパートナーおかやま主催の素晴らしい企画でした。



京山中学校：全国駅伝大会男女アベック優勝おめでとう。大森岡山市長を表敬訪問 (12.27)

皆さん、おめでとうございます。私たちにたくさんの元気を届けてくださいました。皆さん、ピカピカしていて、とてもステキでした。



年末年始炊出しボランティア (12.31)

大晦日の私は、毎年、「NPO法人岡山きずな」の年末年始炊出しボランティアに参加をします。ホームレス支援からはじまり、今は生活に困られているご家庭にもです。メニューは、天ぷら蕎麦と炊き込みご飯でした。12.29~1.3の炊出し、本当にありがとうございます。



岡山市議会議員

会派：みらいえ

No.67

2023年11月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2024年1月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail:info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



2024年：被災地に安心を。地球に平和を 能登半島地震で被災された方にお見舞いを申し上げます

* 安心と復興への支援に全力を *

元日から大きな能登半島地震に見舞われました。亡くなられた方には哀悼の意を、被災された方にはお見舞いを申し上げます。

岡山市役所では1月6日から職員派遣が始まり、岡山市議会では11日に、42人の議員が、岡山駅東口付近で被災者への募金を呼びかけました。たくさんの方の協力をいただき、若い生徒の皆さんの姿も多く、心が温まりました。安心と復興に向けて、支援を続けていきます。

北陸での地震を聞き、志賀原発(石川県)等が大丈夫かと気になっています。住民の反対で計画が中止となった珠洲に建設されていたら大変なことになっていたかもしれません。世界のマグニチュード6.0以上の地震の約2割が、日本で起きているとのこと(内閣府)。すべての原発を廃炉にすべきです。



「市民の台所」岡山市中央卸売市場の初市です。市議会全女性議員の皆さんが大森市長を囲んで(2024.1.5)。4年ぶりの参加です。コロナが社会的に落ち着くまで、多くの行事が一度に復活しています。

* 暴力を許さない。知恵と勇気を寄せて *

ウクライナとガザなど世界では、爆発音や銃声のなかで、年が改まりました。岡山市内では、12月24日と1月13日に、ガザの大量虐殺の被害者を想って、赤い涙を描こうという「赤い涙のペインティング」行動が行われました。この行動は日本各地で行われ、1月のガザに向けた行動は全世界で取り組まれました。

岡山市議会では、11月議会において、「ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議」をあげました。

私が知る限りでは、12月30日時点で、ガザに向けての決議・意見書をあげた自治体は211/1788自治体です。県内では赤磐市・真庭市があげています。今も子どもたちの生命が奪われています。即時停戦にむけて、

知恵と勇気を寄せ合っていきましょう。笑顔が増える2024年を皆さんと作ります。

おにき・のぞみ

11月議会 一般質問から

—今回とりあげた項目—

1. 公共交通
2. 性暴力防止にむけて（学校・教職員）
3. 学校における食物アレルギー対応

11月議会に、水道料金値上げの条例改正案が出され、賛成多数で可決されました。物価高騰の影響で浄水場の耐震化や水道管更新の費用が上がること等への対応で、2024と2025年度は平均15.7%、2026年度以降は平均20.0%の値上げです。一方でこの議会では、物価高騰の影響を受ける低所得世帯（約96,000世帯）に、1世帯当たり7万円の給付が行われる補正予算が可決されています。私は、市民の生活が厳しいなかで、暮らしのベースである水道料金の値上げは避けるべきだと考え、反対をしました。



1. 公共交通

これからの5年間は、地域公共交通再生の重点実施期間として取り組む

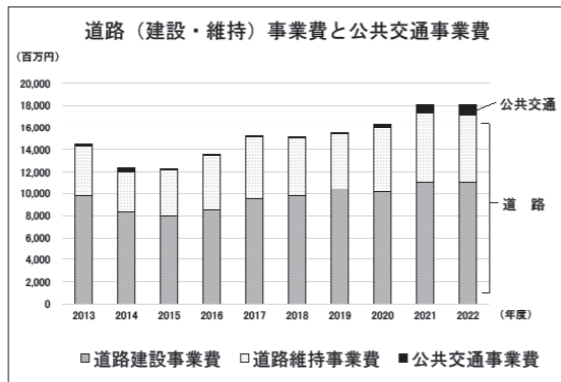
Q 公共交通は社会インフラです。地域公共交通網形成協議会で示されたバス路線再編成計画素案のポイントは？

市長 ①路線の階層化を行い、人口が多い地域は大型バスで、ある地点からは小型マイクロバスにしてのコスト軽減。②初乗りや中心部の運賃を見直し、分かりやすい利用しやすい体系に。③9社あるバス事業者の情報一元化やシステム統合を行い、業務の効率化などを図る。路線再編や岡山市の支援内容も含めて全事業者の同意を得、実施計画としてまとめた。

人口減少社会。バランスをとって公共交通への事業費も

Q この10年間の交通事業費は、道路建設には全体の64%、道路維持には34%である一方、公共交通にはたったの2%です。公共交通への予算の割き方の少なさとともに、右肩上がりに増えている道路建設費に驚いています。人口減少・高齢社会のなかで、市長は舵をどのようにとっていくのでしょうか。

市長 道路の渋滞は経済的にも悪影響を



与え、道路の整備は必要であるが、国は公共交通の維持にも力を入れようという認識はある。他とのバランスを取りながら、予算を組まなければならない。

必要な道路建設は行うべきですが、車の量を減らすことで渋滞緩和を行う検討が必要ではないでしょうか。

2. 性暴力防止にむけて（学校・教職員）

今年度内に、全5回の研修を全学校で行う

Q この9月～10月に、岡山市教育委員会はわいせつ行為を行った3人もの教員の処分を行いました。2022年4月に「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」が施行され、取り組みが強まっているはずにも関わらずです。どのような対応なのか教えてください。

教育長 このたび連続して発生したこと

は痛恨の極みである。各校で行ってきた不祥事防止研修に加え、全校・全教職員に対して、全5回の統一した研修等を行う。性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう真摯に取り組みたい。

Q 子どもからの通報及び相談を受けるための体制整備と教職員や児童・生徒への周知は？

教育長 教員やスクールカウンセラーが対応。教育委員会が設置している「いじめ相談ダイヤル」でも性被害の相談を受け、不安に寄り添いながら対応していく。



千葉市の「子どもにここをサポート」による手紙（千葉市HPより）

性暴力について深い研修が必要です。千葉市では、電話に加えて手紙での相談をはじめたら、多くの相談が寄せられるようになったそうです。岡山市でも検討を。

3. 学校における食物アレルギー対応

食べなかった給食の費用返金。行っている都市を調査して考えたい

食物アレルギーの子ども・保護者の皆さんには、財政的負担だけでなく、置き去りにされているという心理的負担もあります。心を寄せての善処をお願いします。

Q 献立を見て、予め食べないことを伝えても、連続でなければ保護者負担になり、保護者は、給食代とお弁当とを二重に支払っています。返金を行う自治体があります。岡山市も返金を行いますか。

教育長 個別の食材購入の中止ができた場合について返金の対象としている。返金ができている都市については調査をしながら何ができるかを考えたい。

きめ細かな対応をしてほしい。

11月議会アレコレ

*岡山市議会傍聴。子どもの入場規制を廃止しました。嬉しいです。

議会の傍聴規則には、原則「児童および乳幼児は傍聴席に入ることはできない」とされ、入るには議長の許可が必要でした。でも、11月議会から誰でも傍聴できるようになったのです。私はこの規則の存在すら気がつきませんでした。

「みらいえ」の國友議員ご自身の体験からの要望でした。保護者の皆さん、子どもさんと一緒にいらしてくださいね。

*2024年度学校給食費の燃料費の保護者負担がなくなりました。ようやくです。

これまで岡山市教育委員会が保護者負担としていた燃料費。2024年度は国の交付金を使って軽減をします。文部科学省は以前から自治体負担が望ましいとしてきました。何度も議会の場でとりあげられてきたものが、ようやくの実現です。次年度以降も求めていきます。

*意見書提出。全会一致から3/4でよいことに。全会一致の方が重みがあります。

請願・陳情。これまでは委員会で全会一致でないと、国に意見書をあげることができませんでしたが、3/4以上（委員長のぞく）の賛成でよいことになりました。残念です。全会一致にむけての努力はするという事です。

視察／インクルーシブ教育&子どもが安心して育つ居場所づくり

10月26日～27日、神奈川県に視察にいきました。

神奈川県の高校には「インクルーシブ教育実践推進校」があり、2024年度には県内に18校となります。「共生社会」をめざして、知的障がいのある生徒が高校でみんなで一緒に過ごすなかで、学ぶ機会もひろげながら、お互いのことをわかりあって成長していく高校です。

こんな高校があると、子どもたちの小中学校での過ごし方や社会のあり方が異なってくるのではないのでしょうか。視察では神奈川県教育委員会と実践推進校の一つ県立城郷高校を訪問しました。

また、明蓬館高等学校関内SNEC（発達障がいの生徒のための特別支援教育コース）や、川崎市子ども夢パーク（子どもが自分の責任で自由に遊ぶプレパーク）等も視察しました。今、学校や社会が舵を切るときです。

視察を活かしていきます。



県立城郷高校にて。関心あるいろんな自治体議員の皆さんと視察をしました。



川崎市子ども夢パークでは、「こどもゆめ横丁」企画に参加をする子どもたちが、ちょうどそれぞれのお店を建設中でした。

Q お弁当持参の場合、やり方はそれぞれですが、経済的な支援を行っている自治体は多いです。岡山市も行いませんか。

教育長 教育行政としては、学校給食費の支援ということで理解をいただきたい。

Q 現在計画中的の新岡山学校給食セン

ターにおけるアレルギー対応食については、どのようになりますか。

教育長 アレルギー対応を行う専用の調理室を設け、卵と牛乳と乳製品を対象とした除去食対応を考えている。